

瓦に刻まれた文字をよんでみよう

【解説シート】



『見学ガイド 武蔵国分寺のはなし』

いま ねんまえ 国分寺
今からおよそ 1300 年前、
し とうきょうと さいたまけん かながわ
市のある東京都は、埼玉県と神奈川県
けん いちぶ あ むさしこく
の一部を合わせて武蔵国とよばれ、
20 あまりの「郡」とよばれる地域に
わ 分かれていました。武蔵国分寺を建
てるためには、とてつもなく多くの
かわら ひつよう むさしこく
瓦を必要としたため、武蔵国にあつ
た各地域や有力者が負担して瓦を生
さん 産したのです。

ひだり ちず むさしこく
左の地図は、武蔵国のなかにつく
られた「郡」が、どこに置かれたの
かあらわしたものです。

いろ ぶぶん むさしこく
※色がぬられている部分が武蔵国です。

【初級編の解答】

- ① 久良郡の「久」 ② 秩父郡の「父」 ③ 入間郡の「入」 ④ 男衾郡の「男」

久良郡は今の神奈川県、それ以外は今の埼玉県にありました。

【中級編の解答】

- ① 高麗郡の「高」 ② 都筑郡の「都」 ③ 豊島郡の「豊」 ④ 多磨郡の「多」

高麗郡は今の埼玉県、都筑郡は今の神奈川県、豊島郡は東京都で 23 区あたり、多磨郡は東京都と神奈川県をまたいであり、国分寺市もここに含まれます。

【上級編の解答】

- ① 比企郡の「企」 ② 埼玉郡の「埼」 ③ 橋樹郡の「橋」 ④ 榛沢郡の「榛」

比企郡と埼玉郡・榛沢郡は今の埼玉県、橋樹郡は今の神奈川県にありました。

